

# 2011年度決算説明資料

出光興産株式会社

2012年5月1日

## 1. 2011年度決算

### (1) 概要

### (2) セグメント別情報

## 2. 2012年度業績予想

### (1) 概要

### (2) セグメント別情報

## 3. 第3次中期経営計画の進捗状況

## 4. 参考資料

## 【2011年度決算】

- 石油製品セグメントは販売数量減・製品マージン縮小により減益だが、石油化学製品セグメントの製品マージンの改善、資源セグメントの原油・石炭価格上昇により増益となった。
- 営業利益は前年比93億円増の1,381億円、当期純利益は同37億円増の644億円となった。

## 【2012年度業績予想】

- 原油価格前提をDB115\$/BBLとし、在庫影響を除いて前年並みの営業利益を見込む。
- 在庫影響が前年比241億円の減少となること等により、営業利益は前年比281億円減の1,100億円、当期純利益は同84億円減の560億円とする。

## 【配当】

- 業績が好調に推移したことから株主還元を拡充し、期末配当金は1株あたり125円とする。通期では予想配当1株あたり150円を200円に増配する。
- 2012年度予想配当は、1株あたり200円とする。

# 1. 2011年度決算

## ①原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	'10年度実績	'11年度実績	増減	
原油価格(ドバイ)	84.2	110.1	+25.9	+30.8%
原油価格(ブレント)	79.5	111.3	+31.8	+40.0%
ナフサ価格(通関)	763	971	+208	+27.2%
為替レート(TTS)	86.7	80.1	▲6.6	▲7.7%

※ブレント価格は暦年(1~12月)の平均価格。

## ②連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	'10年度実績	'11年度実績	増減	
売上高	36,593	43,103	+6,510	+17.8%
営業利益	1,288	1,381	+93	+7.2%
(在庫影響)	(336)	(341)	(5)	(+1.6%)
(在庫影響除き)	(952)	(1,039)	(+88)	(+9.2%)
営業外損益	▲8	▲45	▲38	—
経常利益	1,280	1,336	+55	+4.3%
特別損益	▲268	▲110	+158	—
当期純利益	607	644	+37	+6.1%

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用しています。

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含みます。

※数字は億円未満を四捨五入で表示

## (2)セグメント別情報

### ①営業利益

(単位：億円)

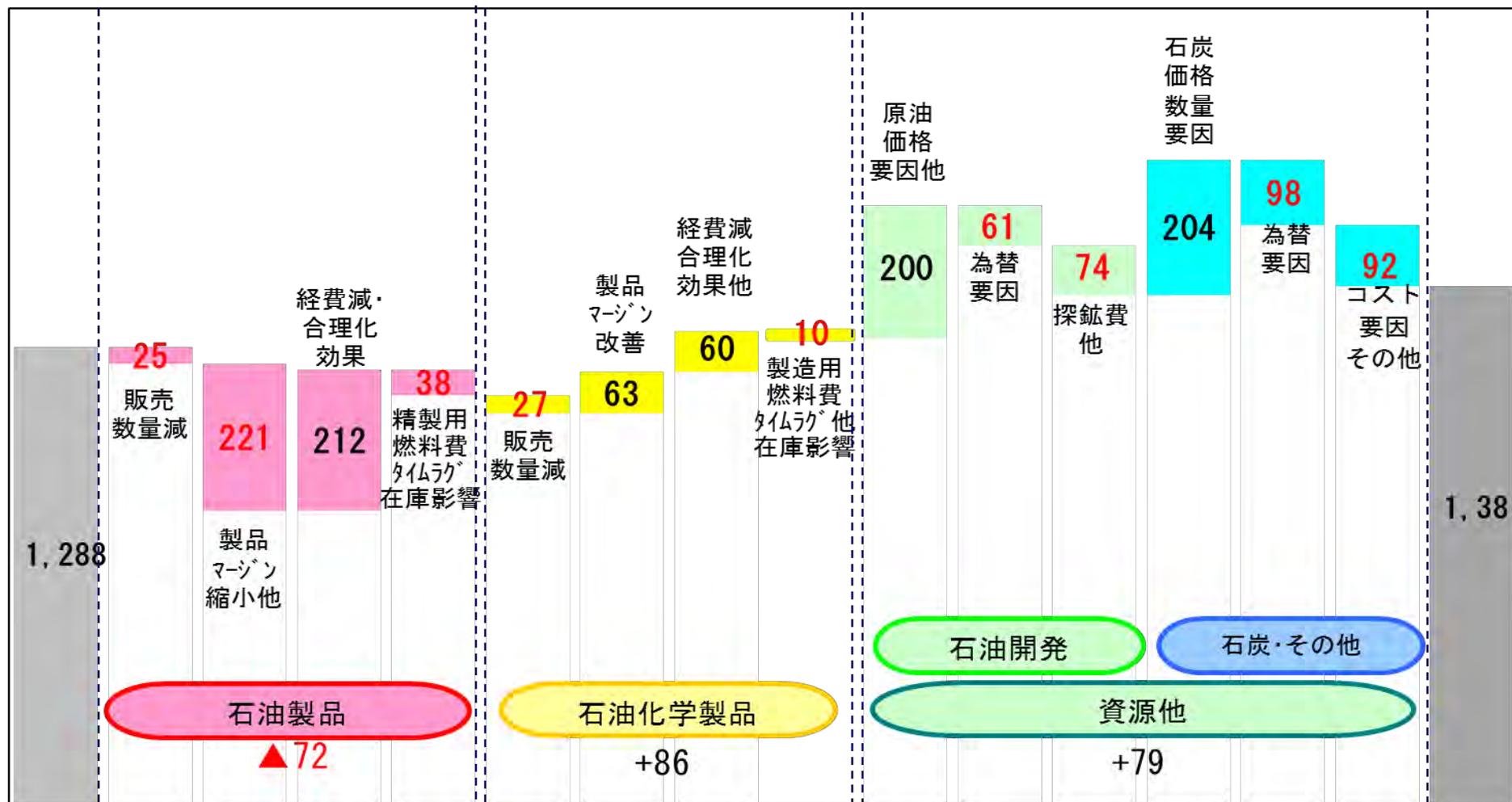
	'10年度実績	'11年度実績	増 減	
石油製品 (在庫影響除き)	946 (612)	874 (529)	▲72 (▲83)	▲7.6% (▲13.6%)
石油化学製品 (在庫影響除き)	42 (40)	128 (132)	+86 (92)	+205.8% (+231.3%)
資 源 (石油開発)	375 (215)	426 (279)	+51 (65)	+13.5% (+30.2%)
(石炭他)	(161)	(147)	(▲14)	(▲8.7%)
そ の 他	▲18	8	+26	—
調 整 額	▲57	▲55	+2	—
合 計 (在庫影響除き)	1,288 (952)	1,381 (1,039)	+93 (+88)	+7.2% (+9.2%)

※資源に含まれる「石油開発」及び豪州石炭は12月決算

# (2)セグメント別情報

## ②営業利益の増減分析(前年比)

(単位:億円)



'10年度  
営業利益

'11年度  
営業利益

## 2. 2012年度業績予想

## ①原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	'11年度実績	'12年度予想	増減	
原油価格(トバイ)	110.1	115.0	+4.9	+4.5%
原油価格(ブレント)	111.3	120.0	+8.7	+7.8%
ナフサ価格(通関)	971	1,037	+66	+6.8%
為替レート(TTS)	80.1	80.0	▲0.1	▲0.1%

※ブレント価格は暦年(1~12月)の平均価格。

## ②連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	'11年度実績	'12年度予想	増減	
売上高	43,103	45,700	+2,597	+6.0%
営業利益	1,381	1,100	▲281	▲20.3%
(在庫影響)	(341)	(100)	(▲241)	(▲70.7%)
(在庫影響除き)	(1,039)	(1,000)	(▲39)	(▲3.8%)
営業外損益	▲45	▲5	+40	—
経常利益	1,336	1,095	▲241	▲18.0%
特別損益	▲110	▲55	+55	—
当期純利益	644	560	▲84	▲13.0%

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用しています。

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含みます。

※数字は億円未満を四捨五入で表示

## (2)セグメント別情報

### ①営業利益

(単位：億円)

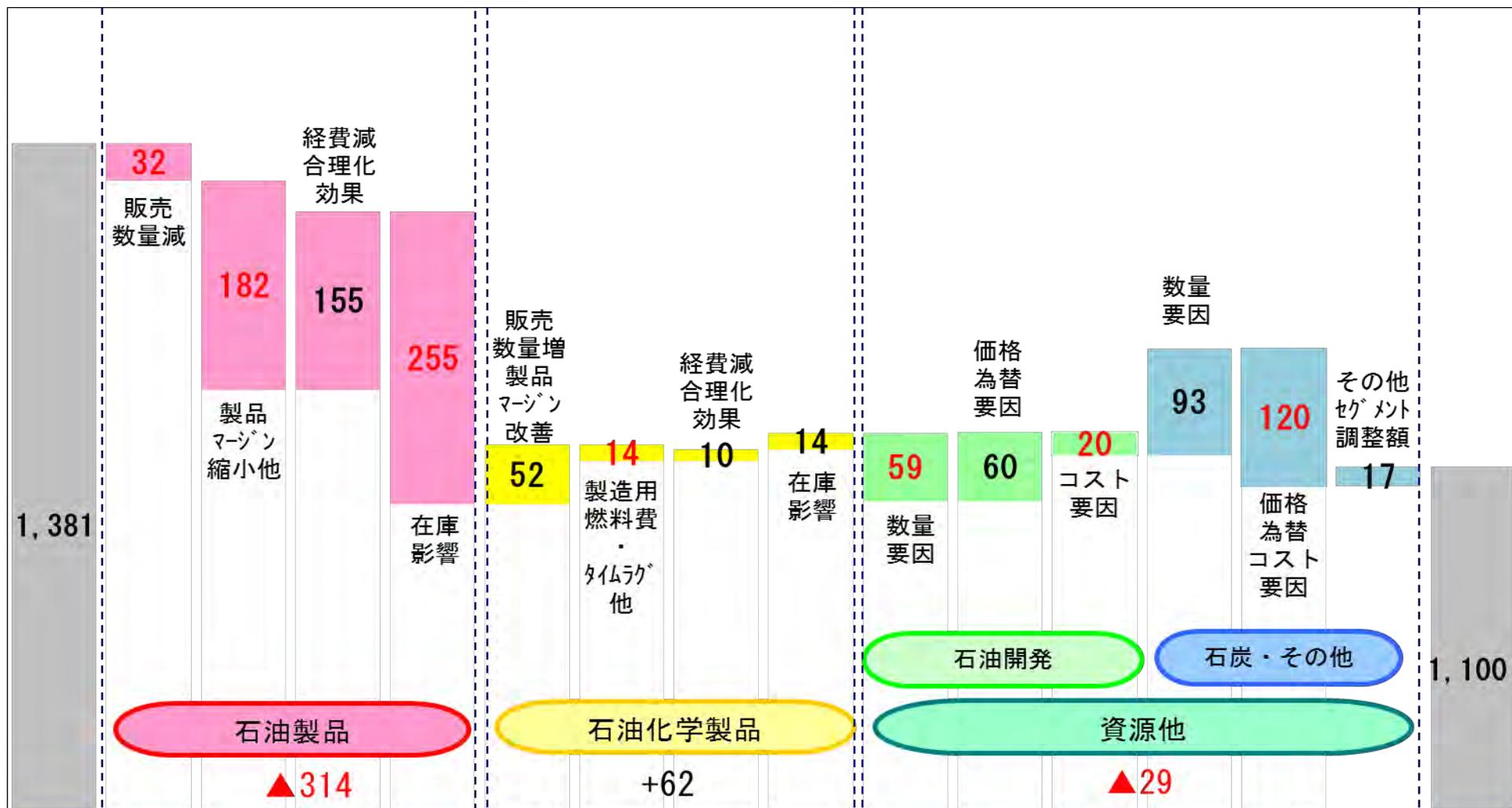
	'11年度実績	'12年度予想	増 減	
石油製品	874	560	▲314	▲35.9%
(在庫影響除き)	(529)	(470)	(▲59)	(▲11.1%)
石油化学製品	128	190	+62	+48.9%
(在庫影響除き)	(132)	(180)	(+48)	(+36.8%)
資 源	426	380	▲46	▲10.8%
(石油開発)	(279)	(260)	(▲19)	(▲6.9%)
(石炭他)	(147)	(120)	(▲27)	(▲18.2%)
そ の 他	8	20	+12	+145.1%
調 整 額	▲55	▲50	+5	—
合 計	1,381	1,100	▲281	▲20.3%
(在庫影響除き)	(1,039)	(1,000)	(▲39)	(▲3.8%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

# (2)セグメント別情報

## ②営業利益の増減分析(前年比)

(単位:億円)



2011年  
実績

2012年度  
見通し

### 3. 第3次中期経営計画進捗状況

# 3. 第3次中期経営計画進捗状況

## (1) 経営指標

(単位: 億円)	2010年度	2011年度	2012年度	
	実績	実績	中期計画	見通し
売上高	36,593	43,103	37,500	45,700
営業利益※	1,422	1,475	1,200	1,240
当期利益	607	644	480	560
(10-12年累計)	-	-	(900)	(1,811)
投下資本営業利益率*	9.3%	9.6%	8.0%	8.0%
自己資本比率	20.4%	21.9%	22.0%	23.0%
ネットD/Eレシオ	1.6	1.3	1.5	1.2

※営業利益: 持分法投資損益・受取配当金を含む

\* 投下資本: 自己資本+有利子負債+少数株主持分

### 【主要前提条件】

ドバイ原油価格	84.2\$/bbl	110.1\$/bbl	80.0\$/bbl	115.0\$/bbl
ナフサ価格(通関)	763\$/t	971\$/t	740\$/t	1,037\$/t

# 3. 第3次中期経営計画進捗状況

## (2) 戦略区分別営業利益の状況

(単位: 億円)

	2009年度 実績	2011年度 実績	2012年度		
			中期計画	見通し	中期対比
基盤事業 (構成比)	195 (42%)	635 (56%)	530 (44%)	630 (55%)	100 (+11%)
資源事業 (構成比)	270 (59%)	413 (36%)	500 (42%)	365 (32%)	▲ 135 (▲ 10%)
高機能材事業 (構成比)	45 (10%)	131 (12%)	220 (18%)	185 (16%)	▲ 35 (▲ 2%)
共通	▲ 50	▲ 45	▲ 50	▲ 40	10
小計(除く在庫影響)	460	1,133	1,200	1,140	▲ 60
在庫影響	0	341	0	100	100
合計	460	1,475	1,200	1,240	40

## (3) 戦略区分別課題の進捗状況

		2011年度までの実績	2012年度の取組み	
<b>基盤事業</b> 燃料油 化学品 再生可能エネルギー		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 徳山製油所の2014年3月停止を決定</li> <li>■ 販売体制の強化・効率化(支店廃止、営業所体制へ移行)</li> <li>■ 北米での燃料油販売事業開始</li> <li>■ イエローハットとの資本・業務提携</li> <li>■ 千葉エチレン装置を三井化学と運営統合</li> <li>■ メタセシス(プロピレン)装置の稼働開始</li> <li>■ 合理化・コスト削減の進捗(2009年対比▲335億円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ニソン製油所プロジェクトの推進</li> <li>■ 徳山製油所停止後の事業強化策の推進</li> <li>■ 化学品国内事業の強化とアジアを中心とした新たな事業展開策の推進</li> <li>■ 合理化・コスト削減計画の達成</li> </ul>	
	<b>資源事業</b> 石油開発 石炭 ウラン 地熱		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保有鉱区開発による生産規模の拡大                              ・ベガサウス、バーリー、ナムロンドイモイ生産開始                              ・ボガブライ鉱山大規模開発推進(2011年:300万t/年体制)</li> <li>■ 英国・ノルウェーを中心に探鉱強化</li> <li>■ 滝上(地熱)事業所出力増強</li> <li>■ 国際石油開発帝石と地熱開発に向けた共同調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クナル(ノルウェー)油田開発の推進</li> <li>■ ボガブライ鉱山大規模開発の推進(430万t/年)</li> <li>■ エンシャム鉱山坑内掘り拡張</li> <li>■ 北海道・秋田・福島の地熱開発に向けた調査の開始</li> </ul>
		<b>高機能材料事業</b> 潤滑油 機能材料 電子材料 アグリバイオ		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ インドネシア・米国の潤滑油製造工場の能力増強</li> <li>■ 粘接着材製造装置の完成</li> <li>■ パナソニックと有機EL照明パネル製造の合弁会社設立</li> <li>■ 韓国に有機EL製造会社設立を決定</li> <li>■ 台湾AUOと戦略提携に向けた基本合意</li> <li>■ エス・ディー・エス バイオテックのTOBによる子会社化</li> <li>■ 東海物産合弁、共立製薬との提携(アグリバイオ事業)</li> </ul>

# 3. 第3次中期経営計画進捗状況

## (4) 合理化の状況

※2009年度対比の合理化の  
目標と実績

	(参考) 2010年度 実績	2011年度		2012年度 見通し
		目標	実績	
<b>石油製品</b> ・設備管理の効率化 ・製油所の省エネ・合理化 ・販売、物流部門の合理化 他	160億円	180億円	219億円	340億円
<b>石油化学製品</b> ・千葉エチレン装置の運転最適化 ・減価償却費減 他	50億円	70億円	70億円	80億円
<b>間接部門コスト</b> ・管理部門等のスリム化	10億円	30億円	46億円	80億円
<b>合計</b>	220億円	280億円	335億円	500億円

### 3. 第3次中期経営計画進捗状況

#### (5) 投資の状況

(単位: 億円)

		2010 -12年度 中期計画	2010 -11年度 実績	2012年度 見通し	2010-12年度	
					見通し	中計対比
戦略 区分別	基盤事業	900	267	275	542	▲ 358
	資源事業	1,560	730	609	1,339	▲ 221
	高機能材事業	440	152	212	364	▲ 76
	戦略投資計	2,900	1,149	1,096	2,245	▲ 655
	維持更新投資	800	483	272	755	▲ 45
	合計	3,700	1,632	1,368	3,000	▲ 700

## 4. 參考資料

## 1. 決算関連

(1) 2011年度決算(2/7公表対比)

(2) セグメント別売上高

(3) 特別損益明細

(4) 連結貸借対照表

(5) 連結キャッシュフロー計算書

## 2. 感応度

## 3. 販売と生産

(1) 販売・生産数量実績

(2) 販売・生産数量見通し

## 4. 為替

## 5. 市況

## 6. 製油所稼働の状況

## 7. SS数推移

## (1) 2011年度実績(2/7公表比)

### ①原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	2/7公表	'11年度実績	増減	
原油価格(トバイ)	107.3	110.1	+2.8	+2.6%
原油価格(ブレント)	111.4	111.3	▲0.1	▲0.1%
ナフサ価格(通関)	956	971	+15	+1.6%
為替レート(TTS)	80.0	80.1	+0.1	+0.1%

※ブレント価格は暦年(1~12月)の平均価格。

### ②連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	2/7公表	'11年度実績	増減	
売上高	43,000	43,103	+103	+0.2%
営業利益	1,230	1,381	+151	+12.3%
(在庫影響)	(210)	(341)	(+131)	(+62.6%)
(在庫影響除き)	(1,020)	(1,039)	(+19)	(+1.9%)
営業外損益	▲30	▲45	▲15	—
経常利益	1,200	1,336	+136	+11.3%
特別損益	▲115	▲110	+5	—
当期純利益	560	644	+84	+15.0%

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用しています。

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含みます。

※数字は億円未満を四捨五入で表示

## (1) 2011年度実績(2/7公表比)

### ③セグメント別営業利益

(単位：億円)

	2/7公表	'11年度実績	増 減	
石油製品	735	874	+139	+18.9%
(在庫影響除き)	(515)	(529)	(+14)	(+2.6%)
石油化学製品	140	128	▲12	▲8.9%
(在庫影響除き)	(150)	(132)	(▲18)	(▲12.3%)
資源	420	426	6	+1.4%
(石油開発)	(280)	(279)	(▲1)	(▲0.2%)
(石炭他)	(140)	(147)	(+7)	(+4.8%)
その他	▲5	8	13	—
調整額	▲60	▲55	5	—
合計	1,230	1,381	+151	+12.3%
(在庫影響除き)	(1,020)	(1,039)	(+19)	(+1.9%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

## (2)－①2011年度セグメント別売上高

(単位：億円)

	'10年度実績	'11年度実績	増 減	
石油製品	29,827	35,887	+6,060	+20.3%
石油化学製品	4,986	5,081	+96	+1.9%
資 源	1,579	1,837	+258	+16.3%
（石油開発）	(710)	(957)	(+247)	(+34.8%)
（石炭他）	(869)	(880)	(+11)	(+1.3%)
その他・調整額	201	298	+97	+48.2%
合 計	36,593	43,103	+6,510	+17.8%

## (2)－②2012年度セグメント別売上高見通し

(単位：億円)

	'11年度実績	'12年度予想	増 減	
石油製品	35,887	37,900	+2,013	+5.6%
石油化学製品	5,081	5,500	+419	+8.2%
資 源	1,837	1,920	+83	+4.5%
(石油開発)	(957)	(840)	(▲117)	(▲12.2%)
(石炭他)	(880)	(1,080)	(+200)	(+22.7%)
その他・調整額	298	380	+82	+27.4%
合 計	43,103	45,700	+2,597	+6.0%

## (3) 特別損益明細

(単位：億円)

	'10年度	'11年度	増減
固定資産売却益	9	13	+4
その他	16	13	▲3
特別利益計	25	26	+1
固定資産売却除却損	37	44	+7
固定資産減損損失	128	19	▲109
事業構造改善費用	0	37	+37
その他	127	35	▲91
特別損失計	292	136	▲157
特別損益	▲268	▲110	+158

## (4) 連結貸借対照表

(単位:億円)

	'11/3末	'12/3末	増減		'11/3末	'12/3末	増減
現金・預金	1,507	1,715	+208	買掛債務	3,015	4,075	+1,060
売掛債権	3,712	4,523	+812	短期借入金等	3,848	3,686	▲162
たな卸資産	5,212	5,856	+644	その他流動負債	3,173	4,020	+847
その他流動資産	1,041	1,212	+171	流動負債計	10,036	11,781	+1,746
				長期借入金等	5,963	5,473	▲490
				その他固定負債	3,771	3,422	▲349
流動資産計	11,471	13,306	+1,835	固定負債計	9,734	8,895	▲839
有形固定資産	9,912	9,861	▲50	負債合計	19,770	20,676	+907
(土地)	6,068	6,014	▲53	株主資本	4,106	4,684	+578
(その他)	3,844	3,847	+3	その他の包括利益 累計	1,039	1,182	+143
その他固定資産	3,796	3,655	▲141	少数株主持分	264	279	+15
固定資産計	13,708	13,516	▲192	純資産計	5,409	6,145	+736
総資産計	25,178	26,821	+1,643	負債・純資産計	25,178	26,821	+1,643

有利子負債計	9,861	9,198	▲663
自己資本比率	20.4%	21.9%	1.4%

## (5) 連結キャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	'10年度	'11年度	増減
営業活動によるCF	870	1,597	+727
税金等調整前純損益	1,012	1,225	+213
減価償却費	792	611	▲181
売上債権・たな卸資産の増減	▲972	▲1,399	▲427
その他	37	1,160	+1,123
投資活動によるCF	▲748	▲591	+158
有形固定資産の取得	▲537	▲551	▲14
その他	▲212	▲40	+172
財務活動によるCF	127	▲795	▲922
借入金等の増減	293	▲702	▲995
その他	▲166	▲93	+73
現預金等に係る換算差額等	▲40	▲48	▲8
現預金等の増減額	209	163	▲46
現預金等の期首残高	1,339	1,547	+209
現預金等の期末残高	1,547	1,711	+163

## 2. 感応度

### (1) 原油価格1ドル/バレル上昇の年度収支への影響

石油製品	精製用燃料費増加等	▲ 3 億円
	在庫評価益	+ 2 4 億円
	計	+ 2 1 億円
石油開発		+ 6 億円

### (2) 為替1円/ドル 円安の年度収支への影響

石油製品	精製用燃料費増加等	▲ 4 億円
	在庫評価益	+ 3 2 億円
	計	+ 2 8 億円
石油開発		—

※上記の他に、資源事業等において、ノルウェークローネ、豪ドル、英ポンド等の為替変動影響を受けます。

# 3. 販売と生産

## (1) ①販売数量実績(燃料油販売:個別)

(単位:千KL、%)

	'10年度実績	'11年度実績	増減	
ガソリン	9,006	8,754	▲252	▲2.8%
(ハイオク)	1,169	1,086	▲83	▲7.1%
(レギュラー)	7,837	7,668	▲169	▲2.2%
ナフサ	259	273	+14	+5.5%
ジェット燃料	1,436	1,389	▲46	▲3.2%
灯油	3,312	3,255	▲57	▲1.7%
軽油	5,740	5,706	▲34	▲0.6%
A重油	3,014	2,942	▲72	▲2.4%
C重油	2,341	3,582	+1,240	+53.0%
国内燃料油販売計	25,107	25,902	+795	+3.2%
輸出燃料油	4,229	4,139	▲90	▲2.1%
(一般輸出)	1,875	1,745	▲130	▲6.9%
燃料油販売計	29,336	30,040	+704	+2.4%

## (1)－②販売数量実績(石油化学製品・個別)

(単位：千t、%)

	'10年度実績	'11年度実績	増減	
石油化学製品計	3,198	2,953	▲245	▲7.7%
(基礎化学品)	2,745	2,514	▲230	▲8.4%
(機能製品計)	453	438	▲15	▲3.3%

## (1)－③販売数量実績(潤滑油)

(単位：千KL、%)

	'10年度実績	'11年度実績	増減	
潤滑油	952	949	▲3	▲0.3%

※海外ライセンス販売先を含む

### 3. 販売と生産

#### (1)－④石油開發生産量(ガス含む)

(単位：千BOED)

	'10年度実績	'11年度実績	増減	
ノルウェー	25.5	26.4	+0.9	+3.6%
英国	2.8	3.6	+0.8	+30.4%
ベトナム	0.4	0.5	+0.1	+26.0%
生産量合計 (千BOED)	28.6	30.5	+1.8	+6.4%
生産量合計 (千BOE)	10,442	11,115	+673	+6.4%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

#### (1)－⑤石炭生産量

(単位：千t)

	'10年度実績	'11年度実績	増減	
エンシャム(85%)	5,015	3,724	▲1,291	▲25.7%
マッセルブルック	1,330	1,264	▲66	▲5.0%
ボガブライ	2,167	2,978	+811	+37.4%
タラウオンガ(30%)	520	467	▲53	▲10.2%
生産量 合計	9,032	8,433	▲599	▲6.6%

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および豪州石炭は12月決算

### 3. 販売と生産

#### (2) - ①販売数量見通し(燃料油販売:個別)

(単位:千KL、%)

	'11年度実績	'12年度予想	増減	
ガソリン	8,754	8,570	▲184	▲2.1%
(ハイオク)	1,086	1,090	+4	+0.4%
(レギュラー)	7,668	7,480	▲188	▲2.5%
ナフサ	273	240	▲33	▲12.1%
ジェット燃料	1,389	1,330	▲59	▲4.3%
灯油	3,255	3,100	▲155	▲4.7%
軽油	5,706	5,630	▲76	▲1.3%
A重油	2,942	2,820	▲122	▲4.1%
C重油	3,582	3,900	+318	+8.9%
国内燃料油販売計	25,902	25,590	▲311	▲1.2%
輸出燃料油	4,139	4,980	+841	+20.3%
(一般輸出)	1,745	2,300	+555	+31.8%
燃料油販売計	30,040	30,570	+530	+1.8%

## (2)－②販売数量見通し(石油化学製品・個別)

(単位：千t、%)

	'11年度実績	'12年度予想	増減	
石油化学製品計	2,953	3,030	+77	+2.6%
(基礎化学品)	2,514	2,540	+26	+1.0%
(機能製品計)	438	490	+52	+11.8%

## (2)－③販売数量見通し(潤滑油)

(単位：千KL、%)

	'11年度実績	'12年度予想	増減	
潤滑油	949	1,030	+81	+8.5%

※海外ライセンス販売先を含む

### 3. 販売と生産

#### (2)－④石油開發生産量見通し(ガス含む)

(単位：千BOED)

	'11年度実績	'12年度予想	増減	
ノルウェー	26.4	22.8	▲3.6	▲13.6%
英国	3.6	3.7	+0.1	+2.4%
ベトナム	0.5	0.5	+0.0	+8.8%
生産量合計 (千BOED)	30.5	27.0	▲3.5	▲11.1%
生産量合計 (千BOE)	11,115	9,880	▲1,235	▲11.1%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

#### (2)－⑤石炭生産量見通し

(単位：千t)

	'11年度実績	'12年度予想	増減	
エンシャム(85%)	3,724	5,220	+1,496	+40.2%
マッセルブルック	1,264	1,290	+26	+2.1%
ボガブライ	2,978	4,370	+1,392	+46.7%
タラウオンガ(30%)	467	620	+153	+32.8%
生産量合計	8,433	11,500	+3,067	+36.4%

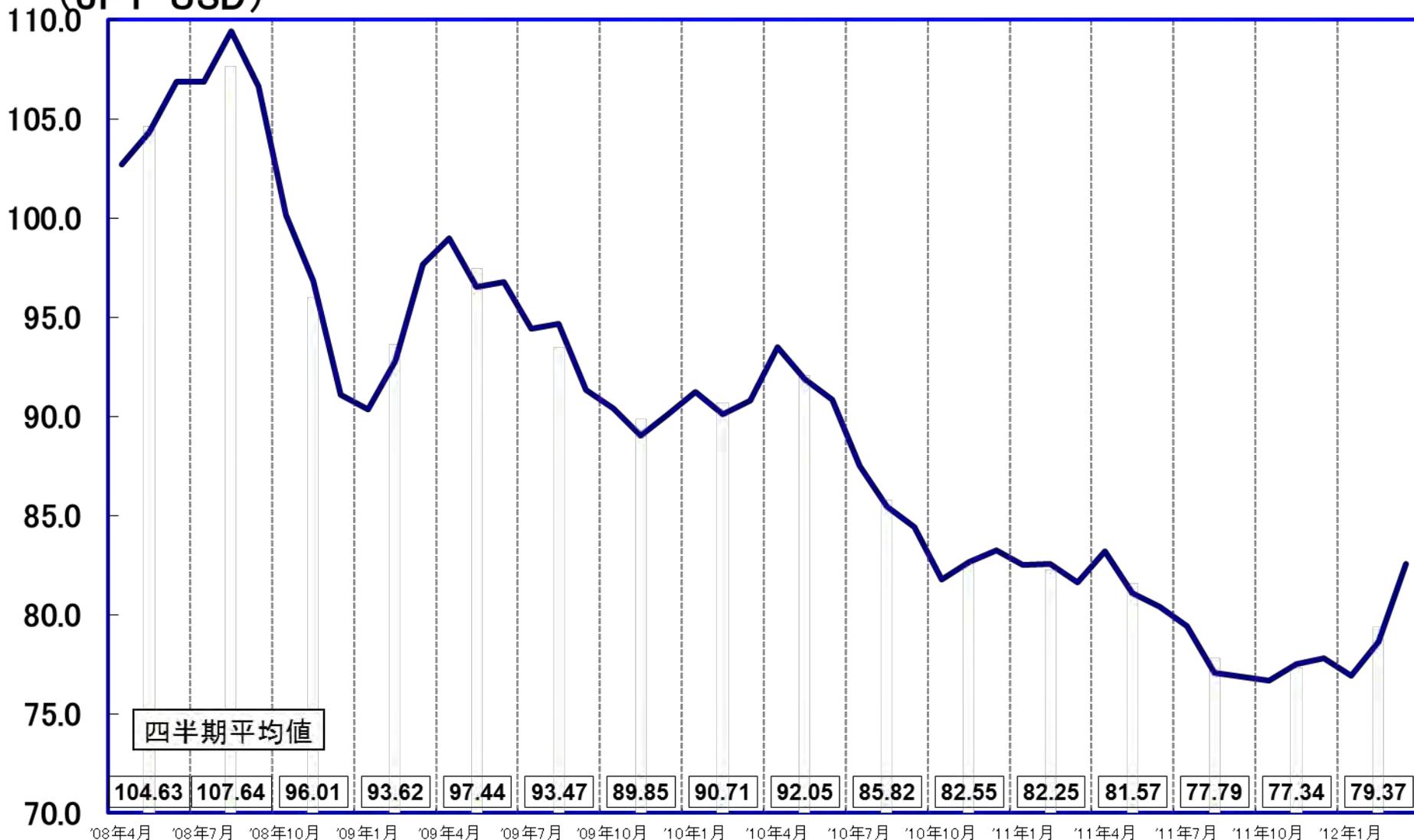
※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および豪州石炭は12月決算

# 4. 為替

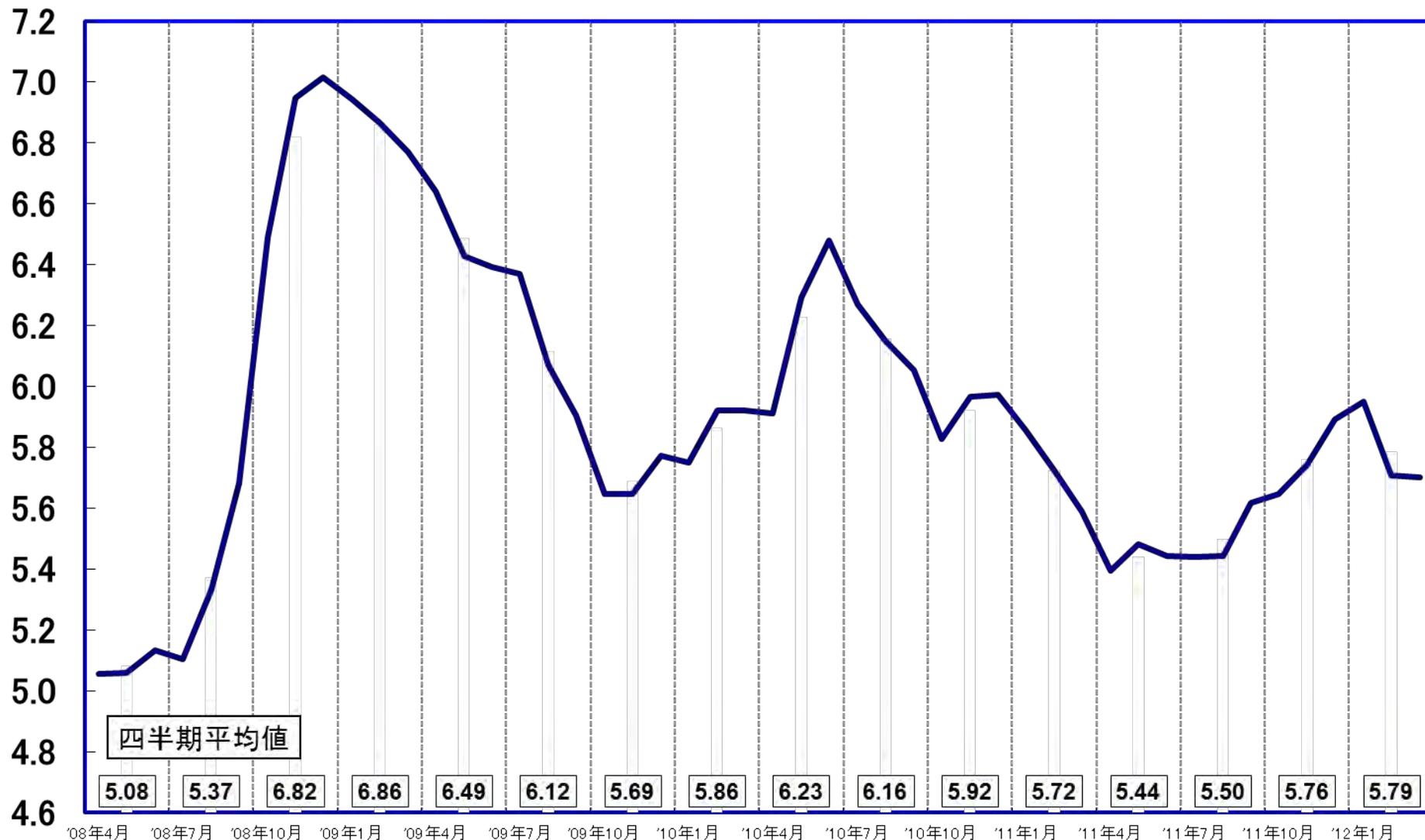
(1)米ドル

(JPY・USD)



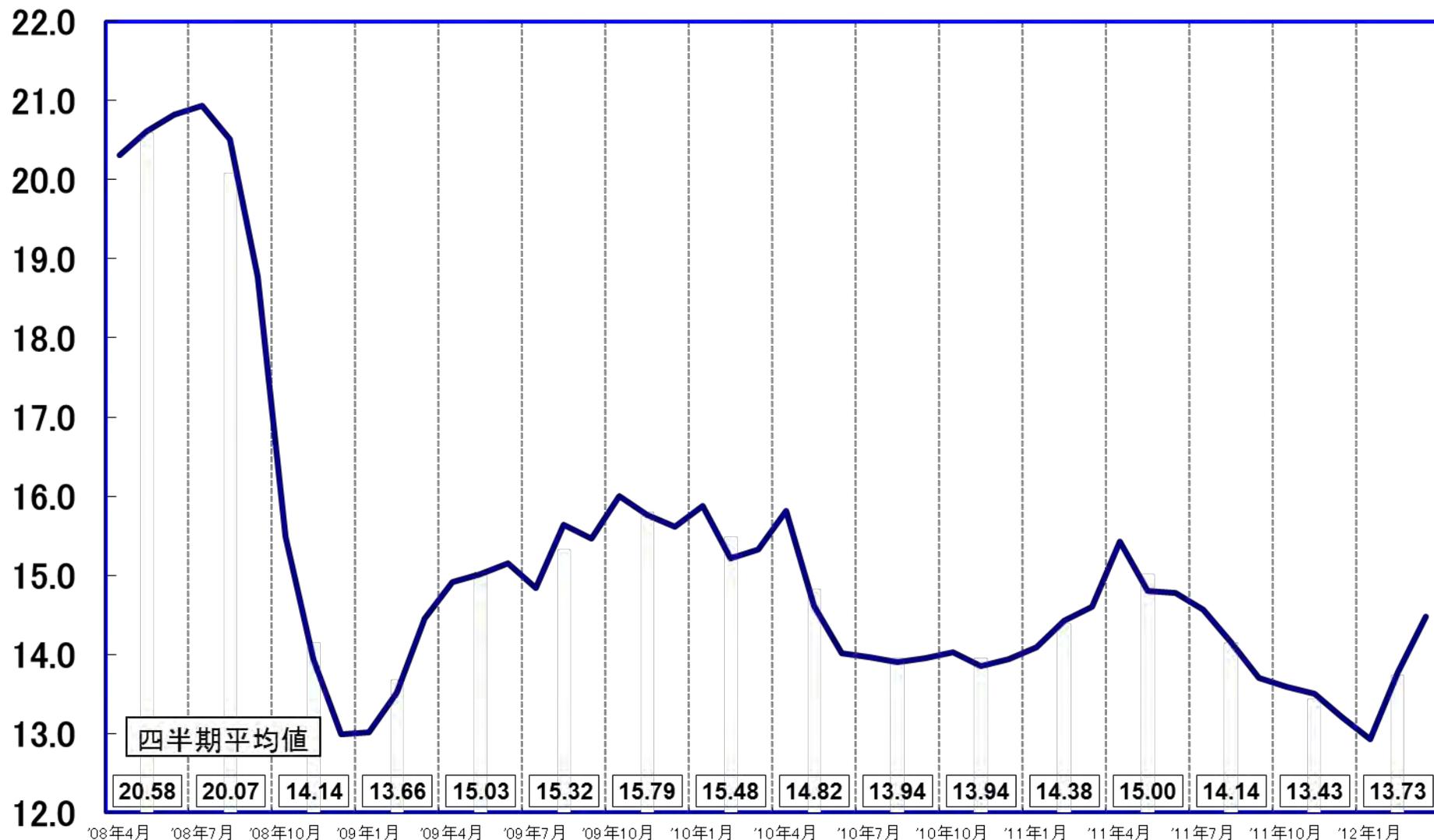
# 4. 為替

## (2) ノルウェー・クローネ (NOK・USD)



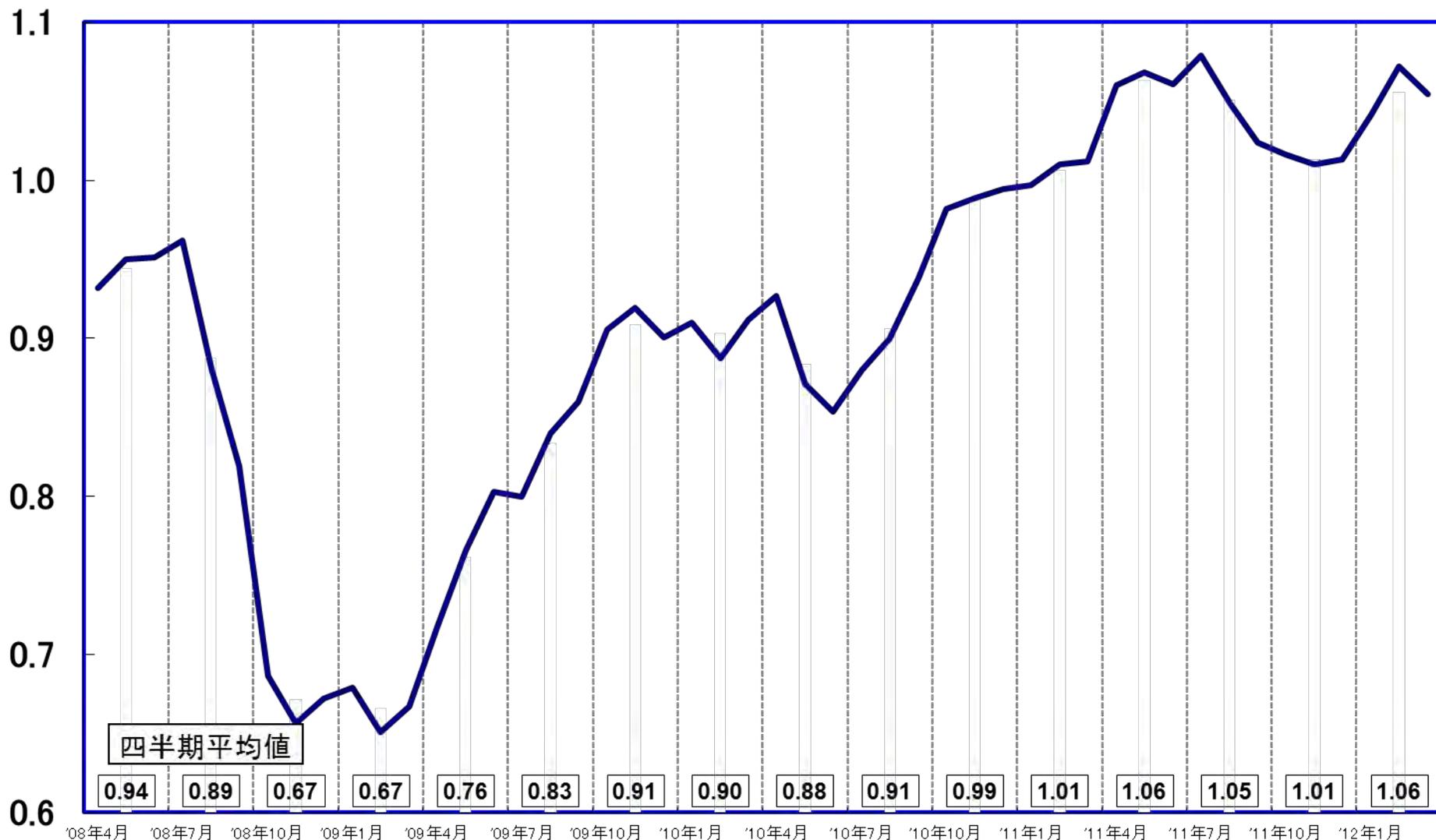
# 4. 為替

## (3) ノルウェークローネ (JPY・NOK)



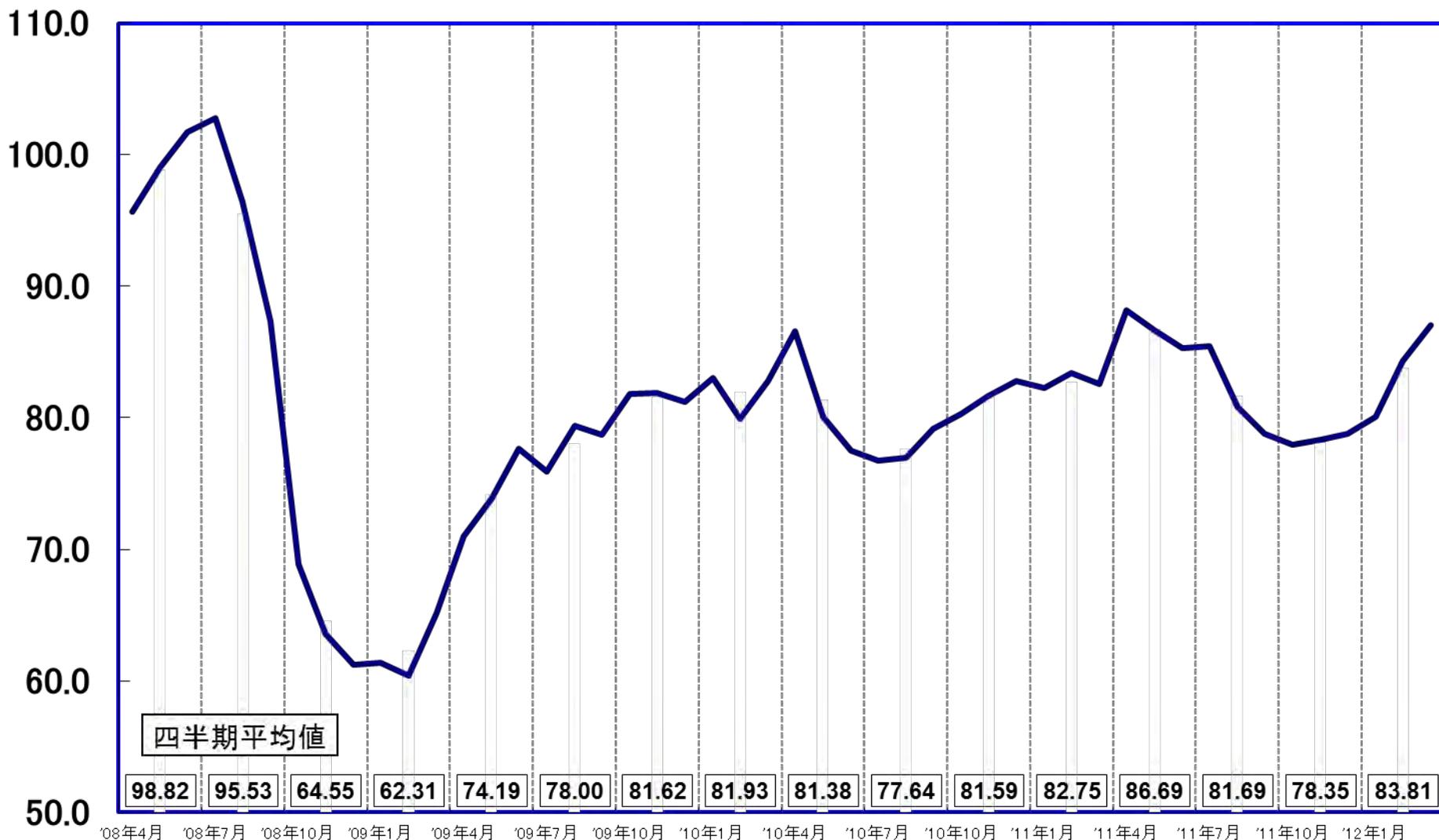
# 4. 為替

## (4) オーストラリアドル (USD・AUD)



# 4. 為替

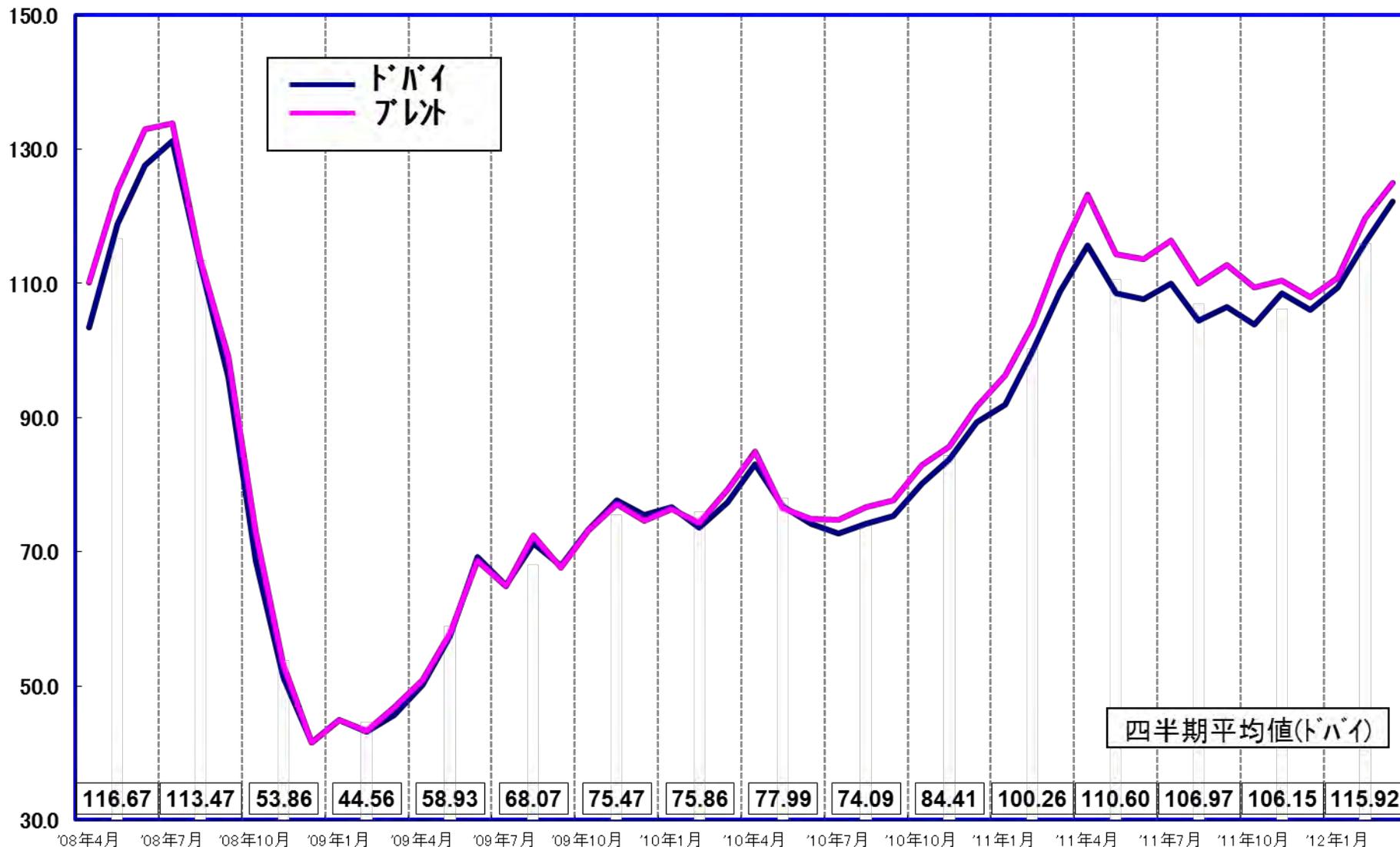
## (5) オーストラリアドル (JPY・AUD)



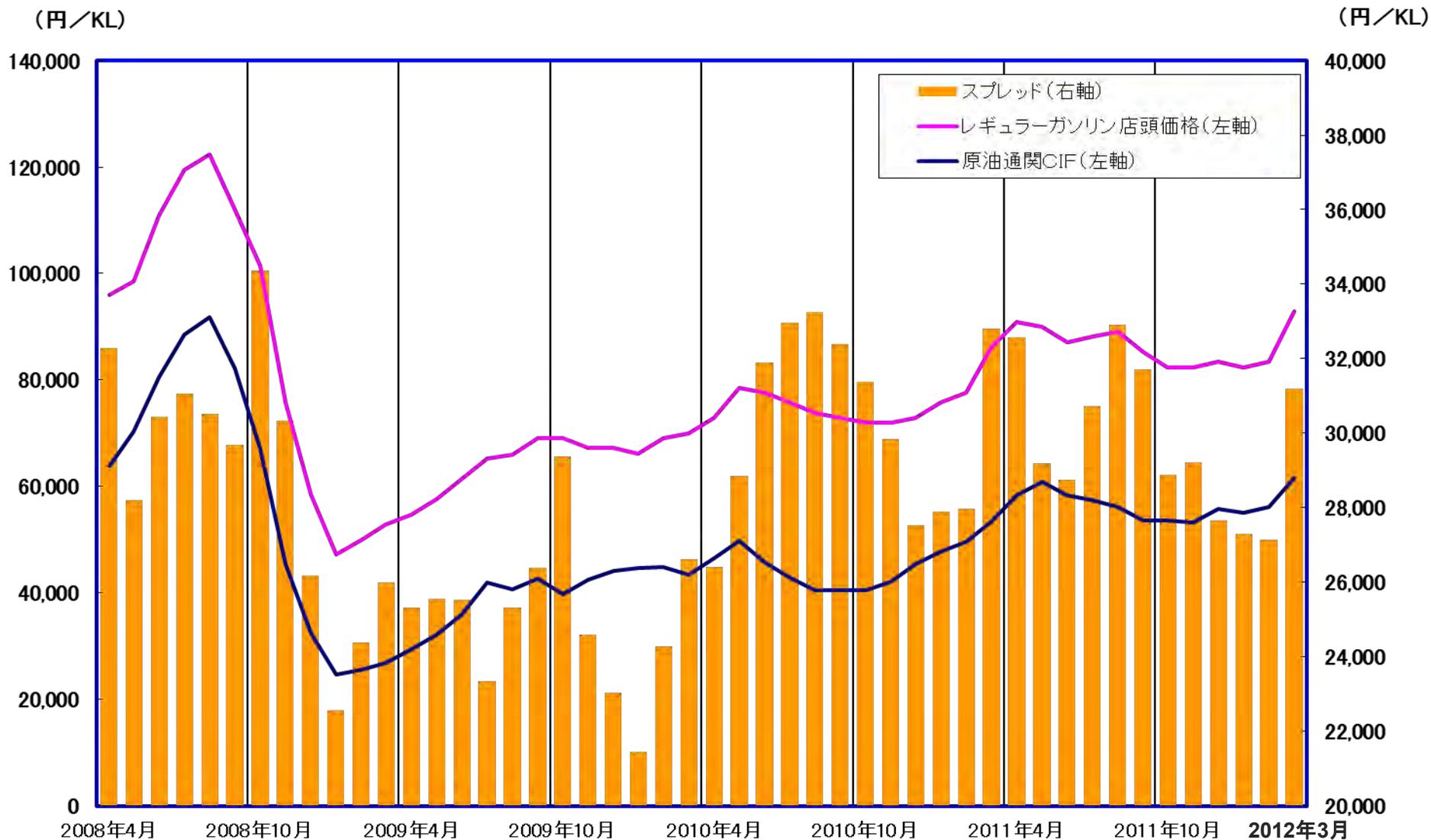
# 5. 市況

## (1) 原油価格(ドバイ、ブレント)

(\$/B)



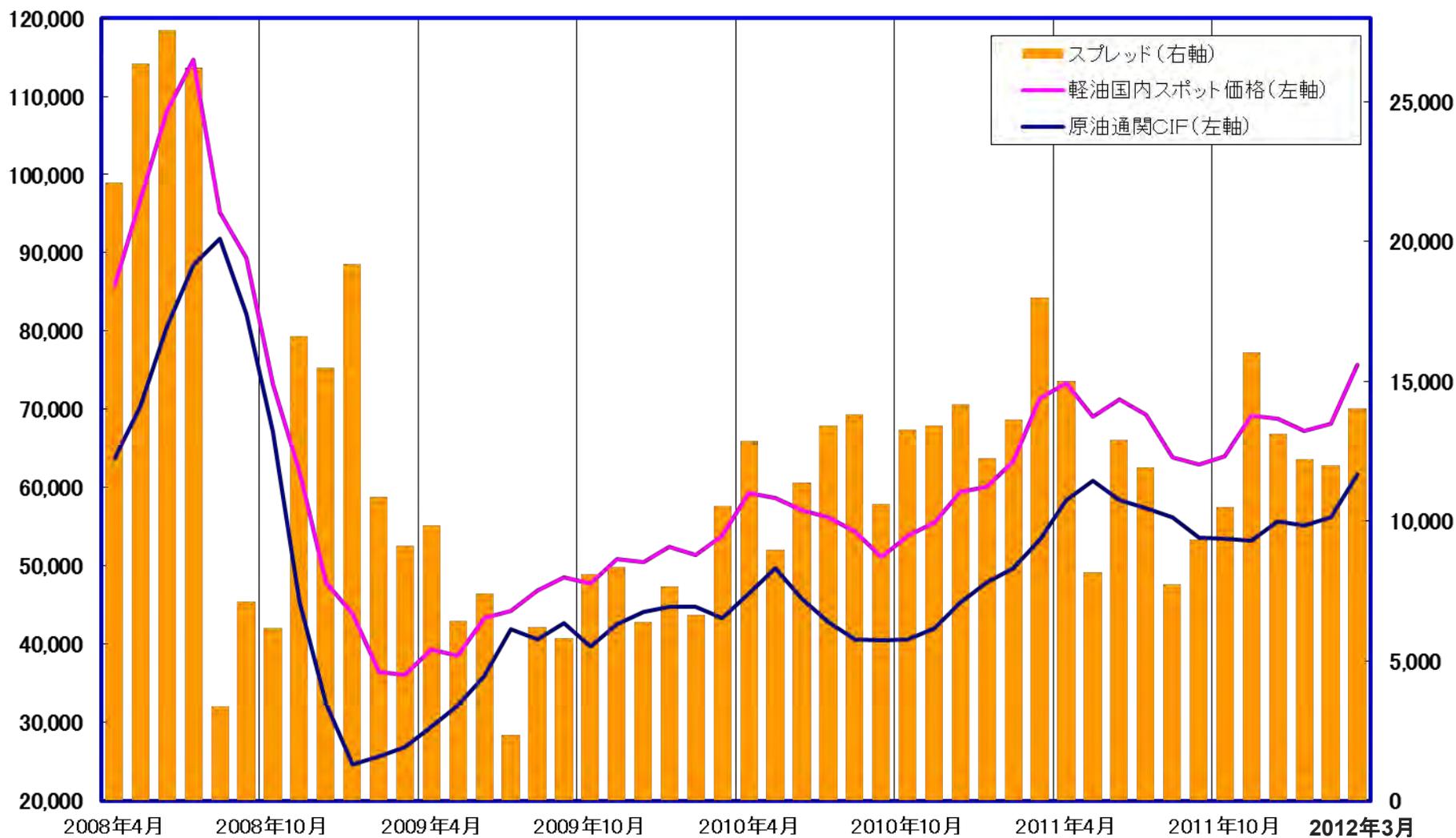
## (2) ガソリン－原油CIF (価格推移 & スプレッド)



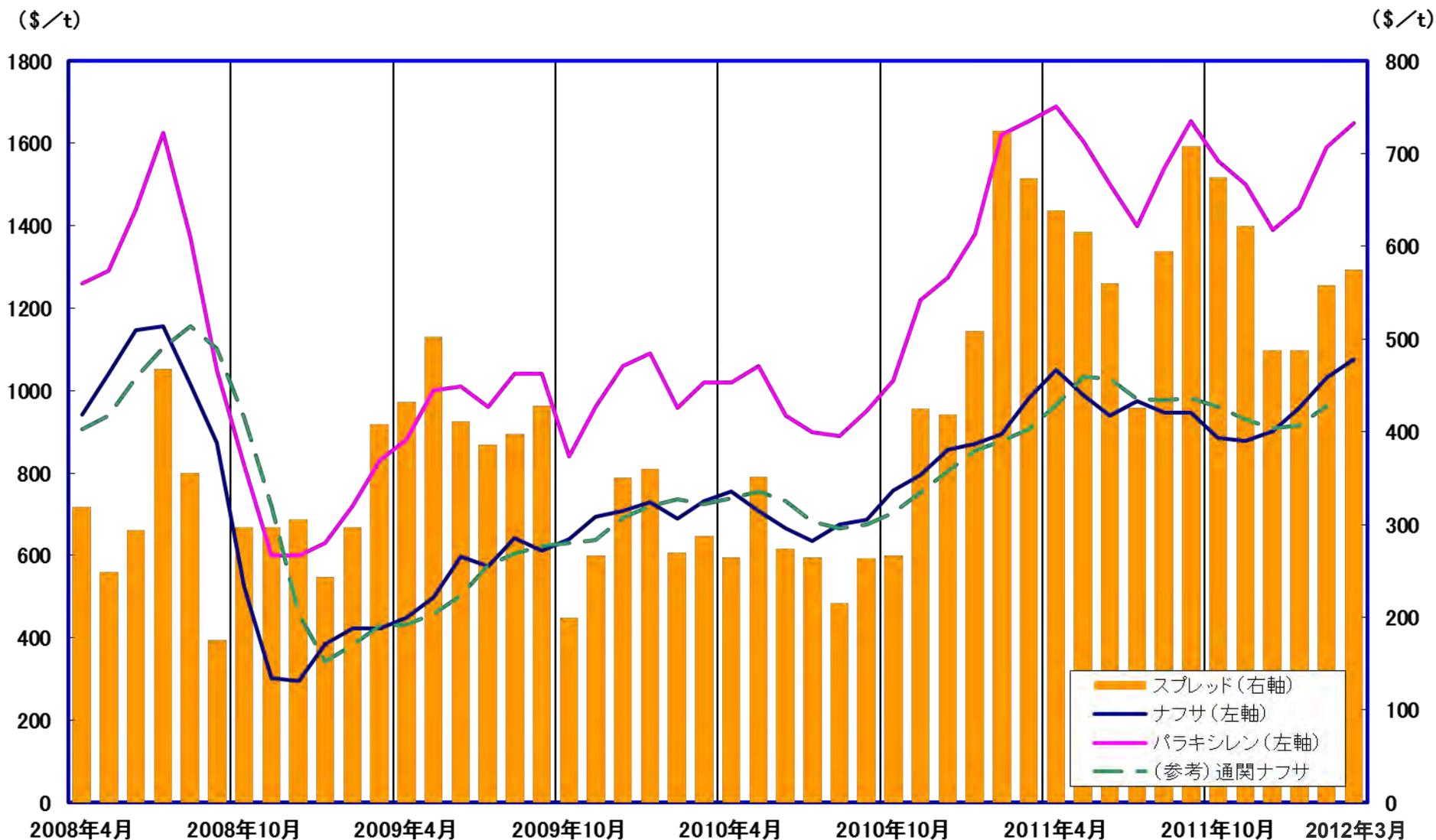
## (3) 軽油－原油CIF (価格推移 & スプレッド)

(円/KL)

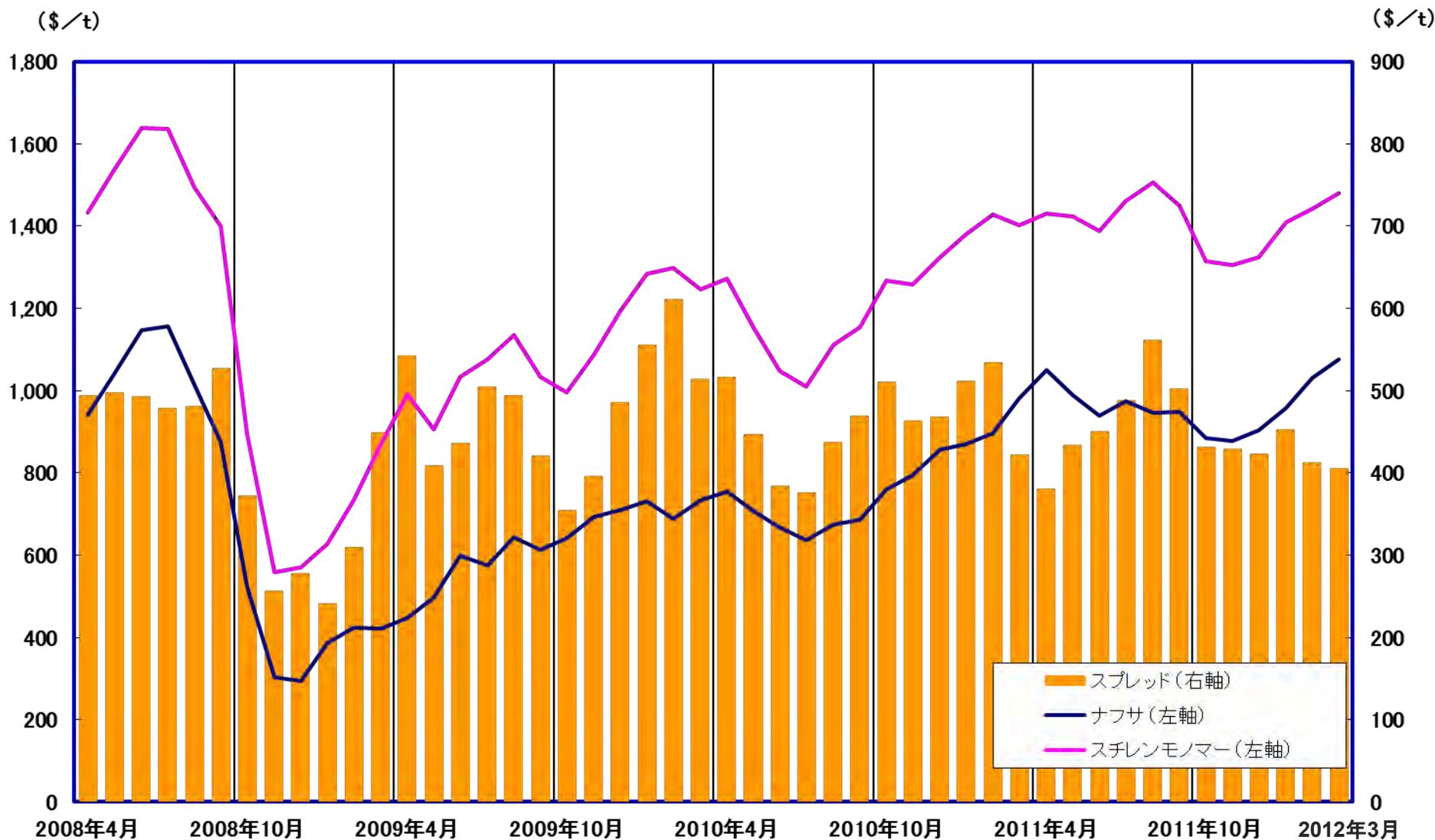
(円/KL)



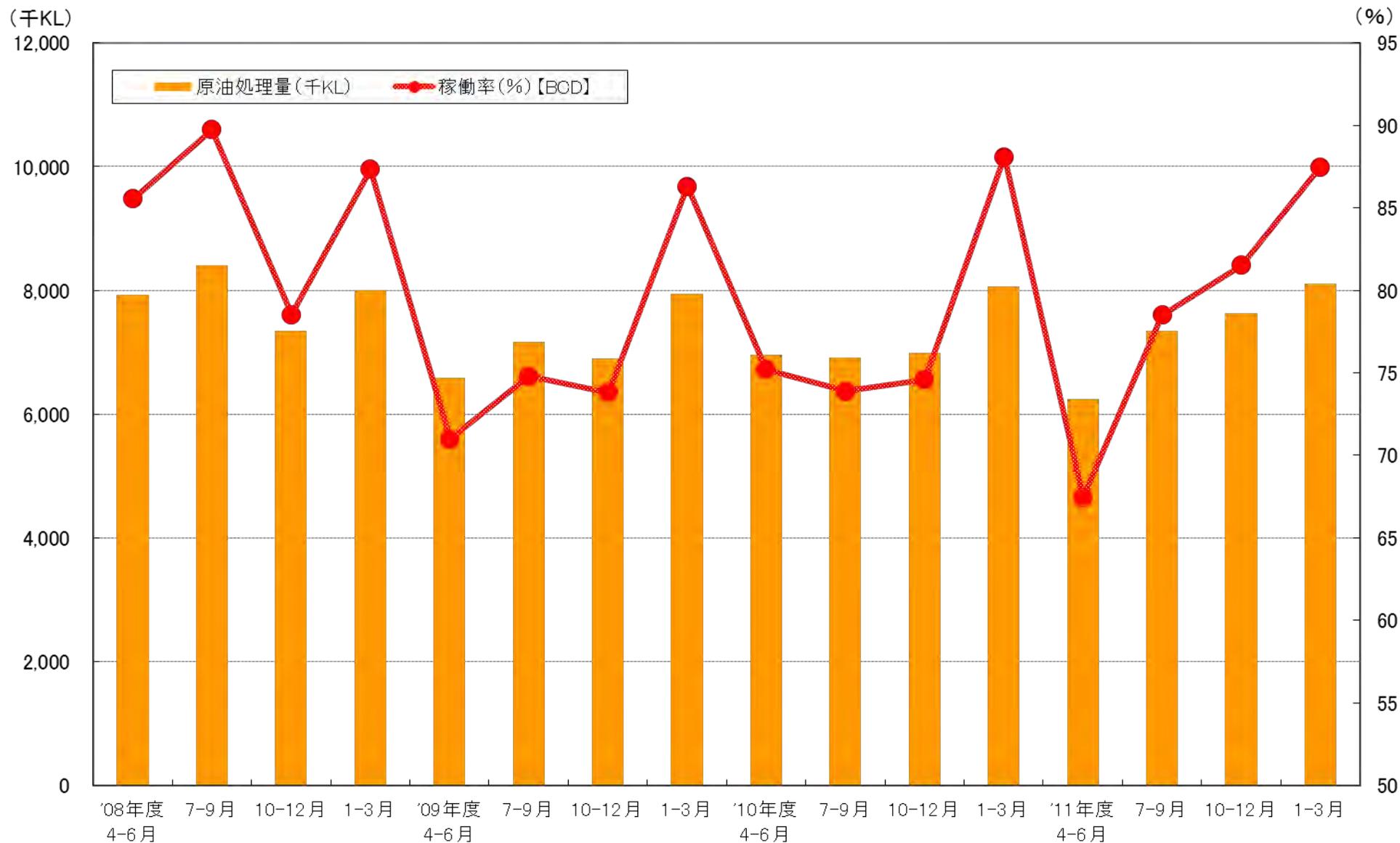
## (4) パラキシレン-ナフサ(価格推移&スプレッド)



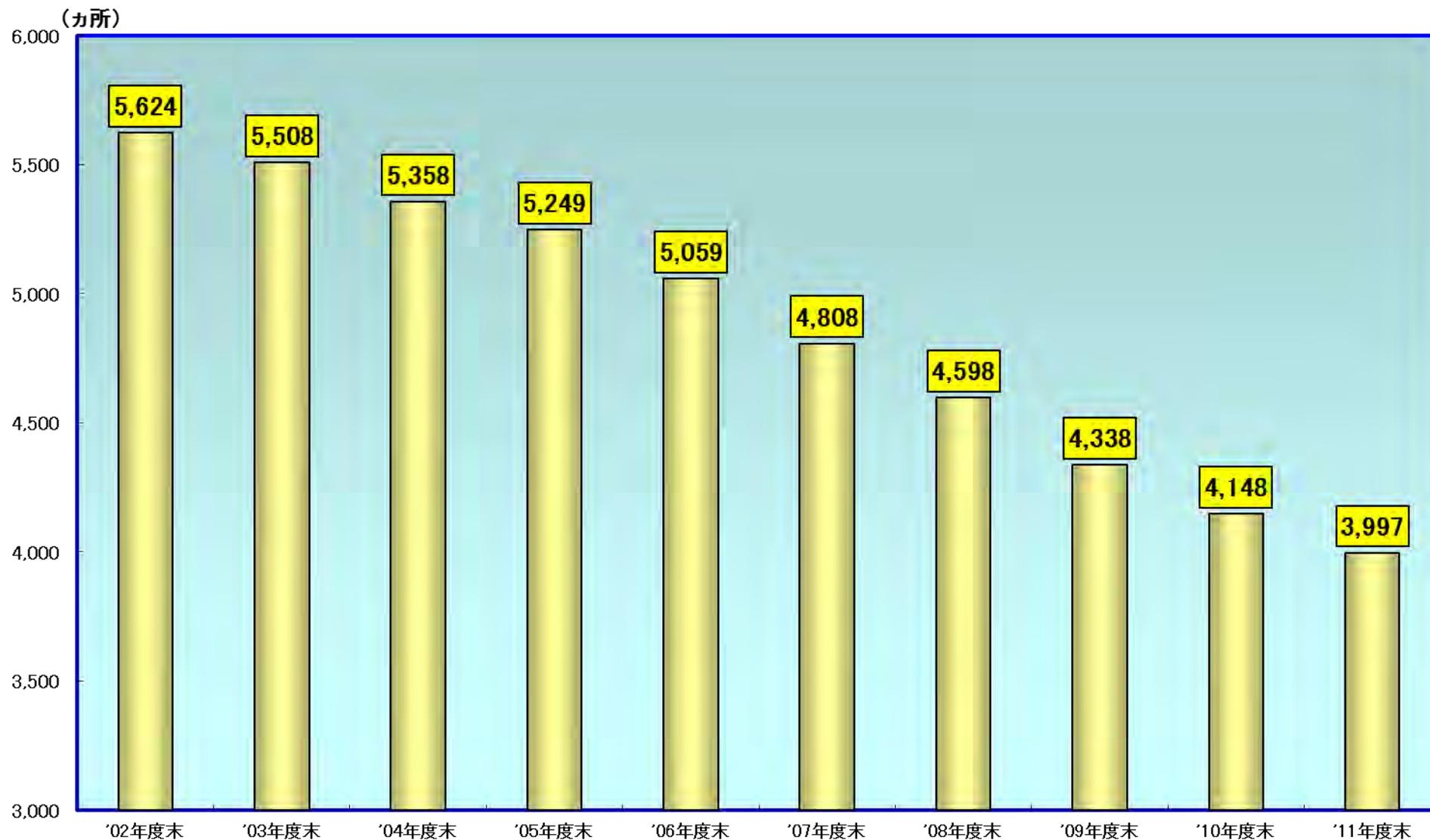
## (5) スチレンモノマーナフサ(価格推移&スプレッド)



# 6. 製油所稼働の状況



# 7. SS数推移



本資料に記載されている当社の業績見通し、戦略、経営方針などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。

実際の業績に影響を与え得る要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向、市況、為替レートおよび金利など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。

出笑